

学会プログラム

第1日目 (10月28日 金曜日 午後)

開会の挨拶 13:20

一般演題 I-01~02 (13:30~13:50)

座長 有満秀幸 (藤田保健衛生大学 医学部 微生物学)

I-01 Predominance of CC320/271 serogroup 19 among penicillin-non-susceptible *Streptococcus pneumoniae* after introduction of PCV7 in Japan

○ 大舘満^{1,2}、木村幸司¹、坂野弘嗣¹、横山覚¹、金万春¹、和知野純一¹、長谷川好規²
荒川宜親¹ (¹名大・医・細菌学、²名大・医・呼吸器内科)

I-02 多剤耐性アシネトバクターのノルエピネフリン刺激によるチゲサイクリン耐性化機構

○ 稲葉正人^{1,2}、荒川宜親²、金万春²、坂野弘継²、和知野純一²、木村幸司²、松田直之¹
(¹名古屋大・医・救急、²名古屋大・医・分子病原細菌)

一般演題 I-03~05 (13:50~14:20)

座長 葛城啓彰 (日本歯科大学 新潟生命歯学部 微生物)

I-03 新規皮膚細菌叢分布測定法を用いた高齢入院患者と若年健常者における皮膚細菌叢の比較

○長瀬 賢史¹、大貝 和裕²、向井 加奈恵³、井内 映美³、森 裕美子¹、松榮 美希¹、
須釜 淳子^{2,3,4} 岡本 成史^{1,2}

¹金沢大・医薬保健・保健・病態検査 ²金沢大・医薬保健・健康増進科学センター

³金沢大・医薬保健・保健・臨床実践看護 ⁴金沢大・新学術創成研究機構

I-04 ヴァージンココナッツオイル (VCO) とラウリン酸における抗菌効果の比較検討

○森 裕美子¹、松榮 美希¹、長瀬 賢史¹、小川 真理子²、住友 倫子²、中田 匡宣²、
川端 重忠²、岡本 成史^{1,3}

¹金沢大・医薬保健・保健・病態検査、²阪大・院歯・口腔細菌、³金沢大・健康増進科学センター

1-05 可視分光光度計を用いた中鎖脂肪酸による抗菌効果の新規簡便検索法の開発

○松榮 美希¹、森 裕美子¹、長瀬 賢史¹、湯淺 善恵¹、小谷 勇介¹、林 和貴¹、杉谷 加代¹、
岡本 成史^{1,2}

¹金沢大・医薬保健・保健・病態検査 ²金沢大・医薬保健・健康増進科学センター

休憩10分間

一般演題 I-06~07 (14:30~14:50)

座長 本間道夫 (名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学)

1-06 *Bartonella henselae* が産生する血管内皮細胞増殖に関わる因子の探索

○塚本健太郎¹、新澤直明²、堀口安彦²、辻 孝雄¹

(¹藤田保衛大・医・微生物、²阪大・微研・分子細菌)

1-07 Stx2e に対するモノクローナル抗体の作製及び浮腫病診断用イムノクロマトグラフィへの応用

○有満秀幸、佐々木慶子、辻孝雄

(藤田保衛大・医・微生物学)

一般演題 I-08~10 (14:50~15:20)

座長 荒川宜親 (名古屋大学 大学院医学研究科 分子病原細菌学)

I-08 海洋性ビブリオ菌 FliG における EHPQR-motif 変異によるべん毛回転方向制御の阻害

○錦野達郎、尾上靖宏、小嶋誠司、本間道夫 (名大・院理・生命理学)

1-09 細菌べん毛の本数と形成位置を制御する FlhF のランダム変異導入による解析

近藤翔太¹、○小嶋誠司¹、本間道夫¹ (¹名大・院理・生命理学)

1-10 海洋性ビブリオ菌のべん毛本数を負に制御する FlhG の ATPase 活性と生化学性状

平田ひかる、近藤翔太、小嶋誠司、○本間道夫 (名大・院理・生命理学)

休憩10分間

一般演題 I-11~12 (15:30~15:50)

座長 松本壮吉 (新潟大学 大学院医歯学総合研究科 細菌学分野)

1-11 脱ユビキチン化酵素 USP10 は造血幹細胞の維持に必須である

○樋口 雅也¹、大桑 孝子¹、姫田 敏樹¹、川村 宏樹²、藤井 雅寛³
(¹金沢医大・微生物学、²新潟医療福祉大学、³新潟大・医・ウイルス学)

1-12 *Mycobacterium avium* が保有する pMAH135 プラスミドの存在意義

○打矢恵一¹、旭 将来¹、二村和憲¹、中川 拓²、小川賢二²、二改俊章¹
(¹名城大学・薬・微生物、²NHO 東名古屋病院・呼吸器内科)

一般演題 I-13~15 (15:50~16:20)

座長 吉村文信 (愛知学院大学 歯学部 微生物学)

1-13 The crucial role of the C-terminal region of mycobacterial DNA-binding protein 1 in DNA compaction, growth suppression, and drug tolerance

○ Anna Savitskaya, Akihito Nishiyama, Sohkiichi Matsumoto

(Division of Bacteriology, Department of Infectious Disease Control and International Medicine, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences)

1-14 Biofilm Formation in *Mycobacterium avium* subsp. *hominissuis*
— Role of Hypoxia, Eutroph and Glycopeptidolipid

○Yoshitaka Tateishi, Sohkiichi Matsumoto.

Department of Bacteriology, Niigata University School of Medicine

1-15 *Fusobacterium nucleatum* との共培養における *Streptococcus mutans* グルカン合成酵素の発現の変化

○三上正人、葛城啓彰 (日歯大・新潟生命歯・微生物)

休憩 10 分間

基調講演（16：30～17：30）

「医の博物館にみる微生物学の発達」

西巻 明彦先生（日本歯科大学新潟生命歯学部 医の博物館 副館長、客員教授）

座長 葛城啓彰（日本歯科大学新潟生命歯学部）

医の博物館見学 17：30～18：00（8号館2F）

懇親会（情報交換会） 18：00～20：00（8号館1F GAKUSHOKU）

第2日目 (10月29日 土曜日 午前)

一般演題 II-01～02 (9:10～9:30)

座長 樋口雅也 (金沢医科大学 微生物学)

II-01 感染象牙質モデルに対する antimicrobial Photo Dynamic Therapy (aPDT)の殺菌効果

○永井悠太¹、鈴木安里³、葛城啓彰^{3,4}、新海航一^{1,2}

(¹日歯新潟・歯研・硬組織、²日歯新潟・保存2、³日歯新潟・微生物、

⁴日歯新潟・歯研・口腔感染)

II-02 瘍性大腸炎モデルマウス病態増悪因子としての *Clostridium* sp. ID4

○久綱 僚¹、富田 純子¹、森田 雄二¹、河村 好章¹

(¹愛知学院大院・薬・微生物学)

一般演題 学生発表 II-03～04 (9:30～9:50)

座長 岡本成史 (金沢大学 医療保健 保健学科 病態検査学)

II-03 ホルダー付きデンタルフロスの保管状態による *Porphyromonas gingivalis* の生存状況について

○菊地椎捺¹、三上正人²、元井志保³、今井あかね^{3,4}、葛城啓彰²

(¹日歯大・新潟短大・専攻、²新潟生命歯・微生物、³新潟短大・歯衛学、

⁴新潟生命歯・生化学)

II-04 生物学的マーカーとしての唾液亜鉛イオン濃度の測定

○秦 史子¹、葛城啓彰²

(¹日本歯科大学・新潟生命歯学部・4年生、²日本歯科大学・新潟生命歯学部・微生物)

休憩 10 分間

特別講演Ⅰ (10:00～11:00)

「口腔と全身のカンジダ症とその制御」

安部 茂先生 (帝京大学 医真菌研究センター)

座長 荒川宜親 (名古屋大学 大学院医学研究科 分子病原細菌学)

特別講演Ⅱ (11:00～12:00)

「歯周病菌の全身への影響」

山崎和久 先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔保健学分野)

座長 葛城啓彰 (日本歯科大学新潟生命歯学部 微生物学)

評議員会 (12:00～13:00)

総会 (13:00～13:15)

閉会式 (13:15～13:20)